

令和3年度 芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | 書道Ⅱ | 単位数 | 2単位 | 年次 | 2年次 |
|-------|------------------|----|-----|-----|-----|----|-----|
| 使用教科書 | 「 書Ⅱ 」(光村図書出版) | | | | | | |
| 副教材等 | 「 」(出版) | | | | | | |

1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

書道における表現と鑑賞の幅広い活動の中で、感性を高め、書の伝統や文化についての理解を深めていきます。様々な場面に対応できる書写能力を育て、主体的に自己を表現する能力を高めていきましょう。

2. 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3. 学習評価(評価基準と評価方法)

| 観点 | a: 書への関心・意欲・態度 | b: 書表現の構想と工夫 | c: 創造的な書表現の技能 | d: 鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観 点 の 趣 旨 | 書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 | 書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 | 創造的な諸表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技術を身に付け表している。 | 日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。 |
| 評 価 方 法 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加状況や態度 ・学習の記録 ・制作カード ・学習成果(作品) | <ul style="list-style-type: none"> ・学習成果(作品) ・制作カード | <ul style="list-style-type: none"> ・学習成果(作品) ・制作カード | <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加状況や態度 ・鑑賞カード ・学習成果(作品) |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | |

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|----|--|--|---------|---|---|---|--|------------------|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1 | 漢字の書の学習 【篆書】 古典臨書 篆刻・刻字 【隷書】 古典臨書 【草書】 古典臨書 | ・臨書の学習により、基本的な点画や線質の表し方、用筆法、運筆法を学ぶ。 ・印の歴史を理解し、落款や用途に応じた印の種類を理解する。 ・楽しみながら、個性を篆刻で表現する。 ・隷書、草書の変遷を理解し、各古典の字形や線質の違いを表現できる技法を習得する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:書に関心をもち、主体的に活動に取り組んでいるか。 b:書よさ、美しさを感じ、意図に基づいた表現の工夫がされているか。 c:基礎的な能力を身に付け、効果的な表現の技法を用いることができるか。 d:書よさや美しさを創造的に味わっているか。 | 作品学習の記録 制作カード |
| 2 | 篆刻・刻字に学ぼう くらしの中の書 | ・楽しみながら、自分の思考や個性を表現する。 ・学習で身につけた知識や技法をもとに、表現に合った語句や技法をもちいて作品制作する。 ・用具・用材の正しい扱い方を学ぶ。 ・日常生活における書の効用について考え、生活の中に書を積極的に取り入れる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:書に関心をもち、主体的に活動に取り組んでいるか。 b:書よさ、美しさを感じ、意図に基づいた表現の工夫がされているか。 c:基礎的な能力を身に付け、効果的な表現の技法を用いることができるか。 d:書よさや美しさを創造的に味わっているか。 | 作品学習の記録 制作カード |
| 2 | 漢字仮名交じりの書の学習 | ・漢字と仮名の調和について考える。 ・自らの思いや感動を表現する語句を選び、創作する。 ・自己の意図やねらいを明確に表現するために、古典を生かした工夫をする。 ・用具・用材による表現の変化を理解し、自己表現を楽しむ。 ・制作した作品を鑑賞しあう。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:書に関心をもち、主体的に活動に取り組んでいるか。 b:書よさ、美しさを感じ、意図に基づいた表現の工夫がされているか。 c:基礎的な能力を身に付け、効果的な表現の技法を用いることができるか。 d:書よさや美しさを創造的に味わっているか。 | 作品学習の記録 制作カード |
| 3 | 仮名の書の学習 | ・仮名の書の変遷を知り、優美な日本の伝統美に触れる。 ・古典の特徴を理解し、自分の思考や感動を表現できる技法を習得し、日本独自の表現形式について理解を深める。 ・仮名の書の特徴を理解し、自らの思考や感動を表現する語句を用いて、作品制作する。 ・制作した作品を鑑賞しあう。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:書に関心をもち、主体的に活動に取り組んでいるか。 b:書よさ、美しさを感じ、意図に基づいた表現の工夫がされているか。 c:基礎的な能力を身に付け、効果的な表現の技法を用いることができるか。 d:書よさや美しさを創造的に味わっているか。 | 作品学習の記録 制作カード |

b:書表現の構想と工夫

d:鑑賞の能力

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。